

令和8年度第1回 市内事業者の経営状況に関するアンケート調査 結果報告

【調査目的】 鯖江市内の各事業所に、中東情勢の緊迫化が及ぼす影響について、現状把握を目的としたアンケート調査を実施し、今後の支援策について検討する。

【調査期間】 令和8年4月20日(月)～4月30日(木)

【調査対象】 鯖江市内の事業所(1,214事業所)

【調査方法】 インターネット上での回答

【回答企業】 94社(回答率:7.74%)

=====
【回答まとめ】 「①懸念、②困難、③圧迫」の3要素で整理。

① 売上減少・需要縮小への懸念

約9割の事業者が中東情勢の影響を受け、8割近くで売上減少が発生しており、今後も厳しい見通しが多数を占めるなど、需要縮小と販売不振への懸念が広がっている。

② 先行き不透明による経営判断の困難さ

原材料や燃料の価格変動、調達遅延などが常態化している中で、特にナフサ関連の資材調達価格の上昇分については、品薄解消後も高止まりする懸念がある。こうした将来予測が難しい状況により、価格設定や受注判断などの経営意思決定が困難になっている。

③ コスト増加と価格転嫁難による収益圧迫

コスト上昇は8割以上で発生する一方、市内9割の事業者では価格転嫁が十分にできていないうえに賃上げの人件費負担が嵩み、利幅の逼迫に苦慮している。事業者も多く、収益を圧迫する構造が顕著となっている。

【本アンケート結果に関する問合せ先】

鯖江市産業交流部産業振興課 電話：0778-53-2229

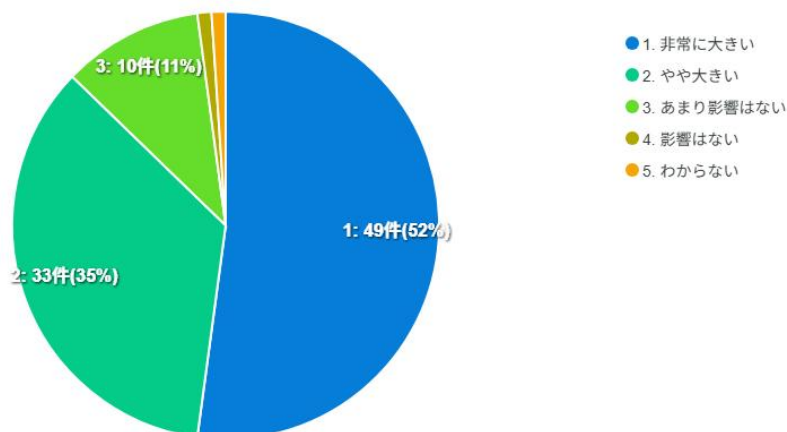
【アンケート結果】

Q1 業種

業 種	回答数	%
製造業（眼鏡関係）	12	12.8
製造業（漆器関係）	14	14.9
製造業（繊維関係）	1	1.0
製造業（その他）	10	10.6
建設業	12	12.8
卸売業・小売業	20	21.3
宿泊業・飲食業	6	6.4
医療業・福祉業	5	5.3
その他サービス業	14	14.9
合計	94	100

Q2 中東情勢の影響について以下のあてはまるものから選んでください

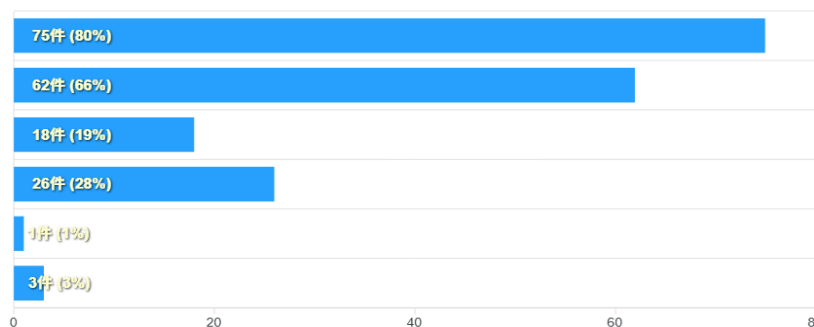
「非常に大きい」が半数以上の52%であり、「やや大きい」の35%と合わせると、87%の事業者が、中東情勢の緊迫化による影響を受けている。



Q3 具体的な影響(複数選択可)

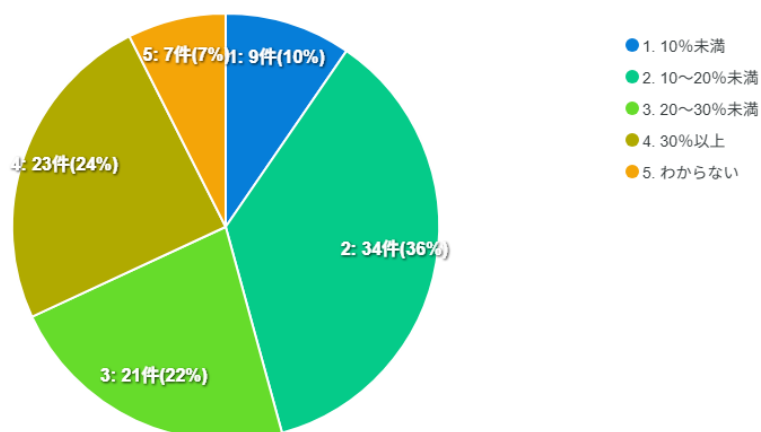
最多は、「燃料費・原材料費・電気・ガス代の高騰」が75件、次いで「仕入・調達の遅れ」が62件であった。

- 1.燃料費・原材料費・電気・ガス代の高騰
- 2.仕入・調達の遅れ
- 3.輸送費の上昇
- 4.取引先の受注減
- 5.わからない



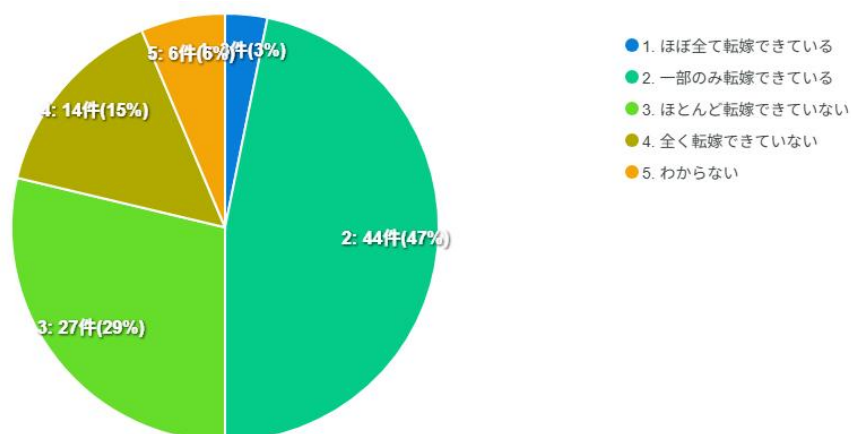
Q4 コスト上昇の割合(前年同時期比の体感)

最多は、「10~20%未満」が36%であり、実に9割以上の事業者がコストアップを実感しているとの回答であった。



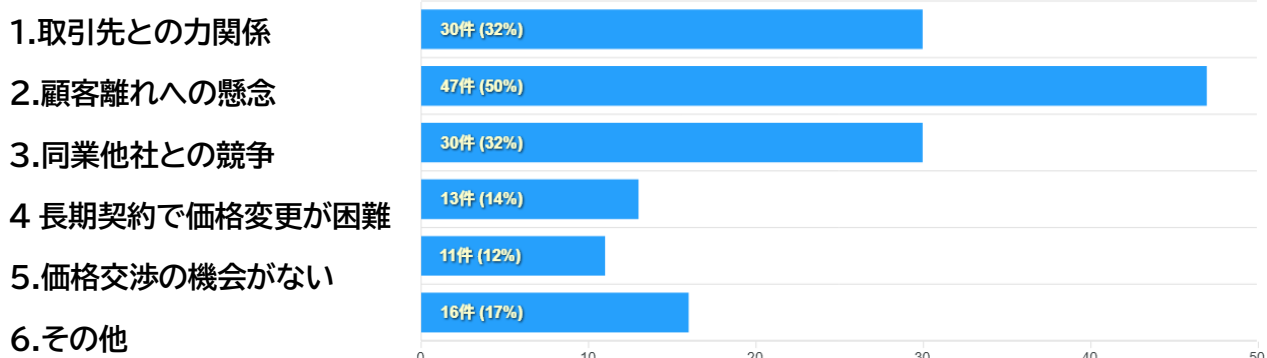
Q5 価格転嫁の状況

最多は「一部転嫁できている」が47%である。しかし「ほとんど転嫁できていない」が29%、「全く転嫁できていない」が15%となり、転嫁できている事業者とできていない事業者が2極化していることが伺える。さらに、「ほぼ全て転嫁できている」は3%のみ、「わからない」は6%となり、それ以外の90%の事業者は利益率が低下していることが伺える。



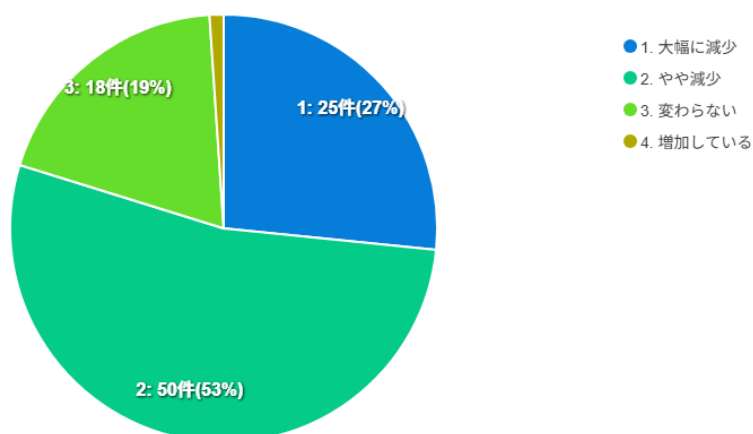
Q6 価格転嫁が難しい理由(複数選択可)

最多は、「顧客離れへの懸念」が47件、次いで「取引先との力関係」「同業他社との競争」が同数で30件であった。



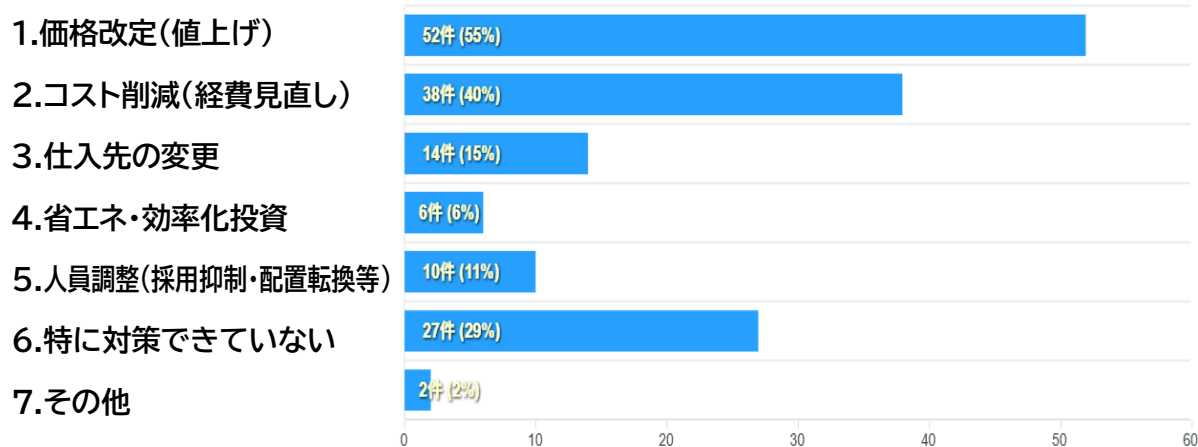
Q7 売上への影響

「大幅に減少している」が27%、「やや減少」が53%と合計すると8割の事業者の売上げが中東情勢の緊迫化によって減少していることがわかる。



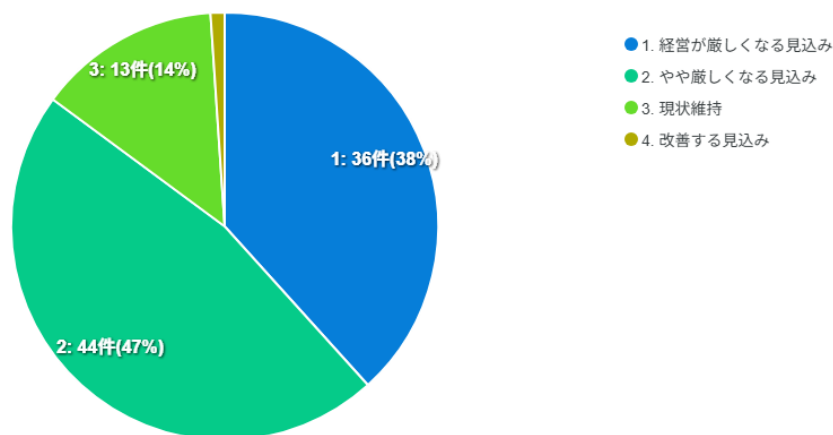
Q8 実施している対応策(複数選択可)

「価格改定(値上げ)」が52件、次いで「コスト削減(経費見直し)」の38件、「仕入先の変更」の14件など多くの事業者が収支の改善を図ろうとしている。一方で、「特に対策できていない」との回答も27件あり、対応に苦慮している事業者も一定数見込まれる。



Q9 今後の見通し

「やや厳しくなる見込み」が最多の47%、「厳しくなる見込み」の38%と合わせると85%の事業者が今後の経営の見通しを懸念していることがわかる。



【自由記述より抜粋】

- ◆原油価格に左右される要素(輸送、製造経費及び資材)ばかりで、価格の上昇が予測できない。
- ◆シンナーが入手困難になるのではないかと、キハツも今の情勢が長引くと入荷がない。
- ◆水ガラに使うコンパウンド、ニトリル手袋など値上げや納期遅延通告が来ている。
- ◆屋根の防水シート(アスファルトルーフィング)や雨とい等の納期が未定。
- ◆値上げ額も20%以上、物によっては40%以上との通知で実際いくら上がるのかは未定。
ナフサが確保され、安定供給できない限り、問題は解決しない。
- ◆現状、全てが未定で先が読めず、今後建物が建てられなくなると受注が皆無になってしまう。
- ◆診療用ニトリルグローブ、麻酔薬、滅菌パックなど全く購入できていません。
このままの状態が続けば患者さんへの安心した医療提供が難しくなります。
- ◆石油製品、包装用のフィルム袋等が品不足、価格高騰。
- ◆プラスチック射出成形の材料やアセトン、シンナー、その他有機溶剤が不足し、生産抑制。
- ◆受注したくても商品が出来てこない恐れがあるので、今の状況では、うかつに受注出来ない。
- ◆樹脂材料の原料が入ってこなくなると言われている。6月からさらに樹脂製品の値上げ。
- ◆ABS樹脂材とシンナーの値上げ、5月末以降商品が作れるのかどうかの不安、もし納品出来ない場合は陶器やガラスへ予算が流れる(対ホテル、業務用のため)。需要の低下予想。
- ◆単価値上げの見積り書を提出したばかりなのに、更に追加の値上りの見積りが届く状態。